

2023年3月期（第13期）
第2四半期決算説明資料

2022.10.25

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



目次

1. 2023年3月期（第13期） 第2四半期決算概要
2. 2023年3月期（第13期） 通期業績予想
3. トピックス

1. 2023年3月期（第13期） 第2四半期決算概要

- 3 -

(1) 2023年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	13,995	19,017	+ 5,021	35.9%
映像&IT	10,974	15,310	+ 4,336	39.5%
ロボティクス	3,021	3,706	+ 684	22.7%
営業利益	82	△ 664	△ 747	—
経常利益	149	△ 304	△ 454	—
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△ 130	△ 454	△ 323	—

前年度実績比
増収減益**増収要因：**

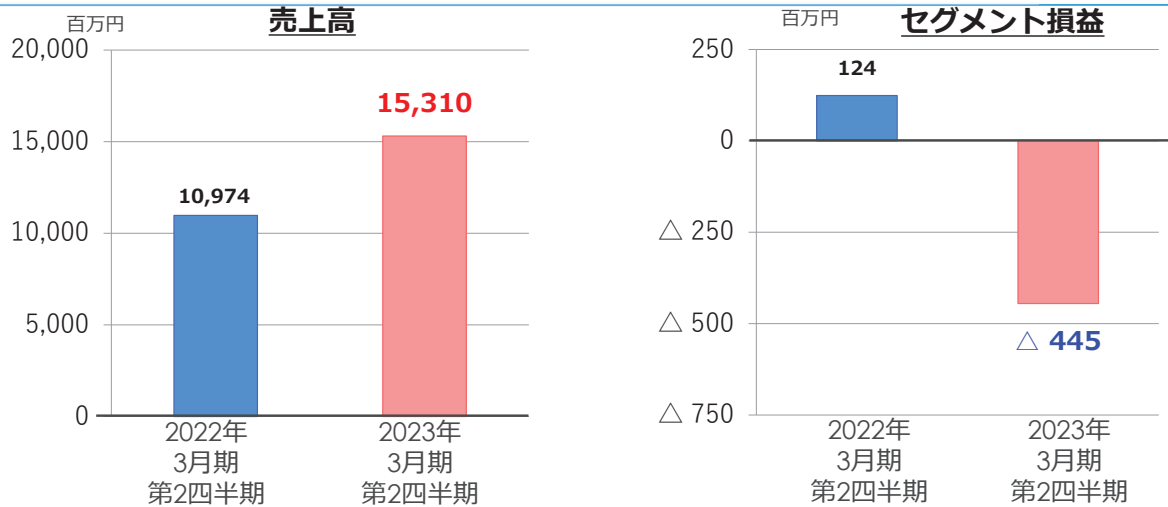
- ・主に買収企業の売上が寄与
- ・「映像&IT」「ロボティクス」とともに増収

減益要因：

- ・売上原価の増加により減益
- ・為替差益により経常損失の減益幅は圧縮

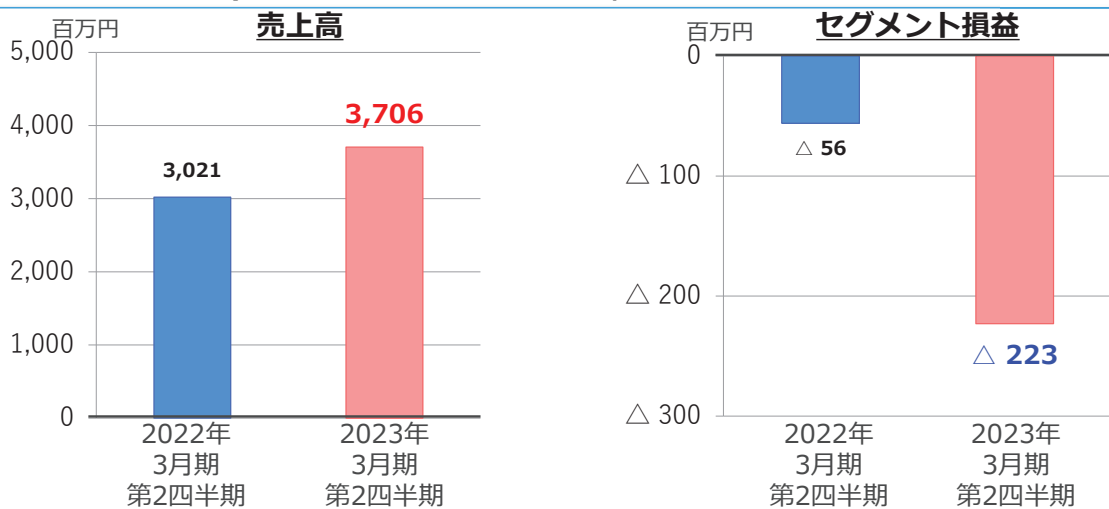
- 4 -

(2) 映像&IT事業セグメントの損益



- ・教育市場（電子黒板、書画カメラ等）：①国内 競争激化の影響の中、前期並みの水準維持
②欧米 急激な物価上昇やサプライチェーンの混乱などにより計画下回る
- ・車載事業：堅調な需要により受注が積み上がるも半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・部品価格高騰や円安によるエネルギー・輸入製品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価上昇、事業拡大・顧客満足度向上を目指した営業組織強化による活動費用や管理費用増によりセグメント損失拡大

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・FA事業関連機器：①国内 堅調な需要に対して半導体関連部品の調達難の影響による納品遅延が継続
②中国 COVID-19による市場環境悪化の影響
- ・前期に買収しグループ入りした子会社が売上/利益に貢献
- ・部品価格高騰や円安によるエネルギー・輸入製品価格高騰、部品調達難による生産性低下で売上原価上昇しセグメント損失拡大

(4) 2023年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2022年 3月期	2023年 3月期 第2四半期	増減
流動資産	20,934	23,566	+2,631
固定資産	10,846	10,783	△ 63
資産合計	31,781	34,349	+2,568
流動負債	16,546	19,276	+2,730
固定負債	5,499	5,248	△ 250
負債合計	22,045	24,525	+2,479
株主資本	9,000	8,269	△ 730
その他の包括利益合計額	734	1,554	+819
純資産合計	9,735	9,824	+89
負債純資産合計	31,781	34,349	+2,568
自己資本比率	30.6%	28.6%	△2.0pt

流動資産：

- ・ 部品調達難により出荷ができず在庫増
+ 2, 1 5 9 百万円

流動負債：

- ・ 在庫増加に伴い流動負債増
+ 1, 5 0 5 百万円

純資産：

- ・ 円安により為替換算調整勘定増
+ 8 1 5 百万円

- 7 -

2. 2023年3月期（第13期）通期業績予想

- 8 -

(1) 2023年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	34,521	40,000	+ 5,478	15.9%
営業利益	749	1,500	+ 750	100.0%
経常利益	955	1,300	+ 344	36.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	431	900	+ 468	108.8%

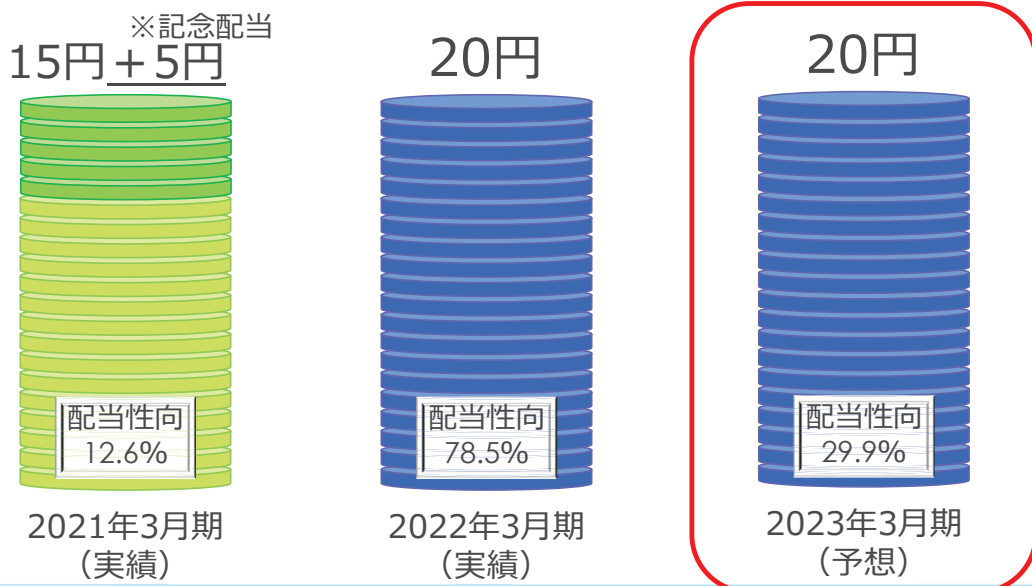
前年度実績比
増収増益

増収増益要因と対策：

- ・先々までの受注活動
- ・先々までの部品手配
- ・既存商材の展開強化
による新規顧客の開拓
- ・海外営業強化
- ・販売価格の適正化
- ・部品入手活動強化
- ・コストダウン活動
- ・連結子会社化の効果

(2) 2023年3月期 株主還元

年間配当予想：年間1株あたり20円



3. トピックス

- 11 -

(1) 「映像&IT」「ロボティクス」で切り開く未来

「映像&IT」と「ロボティクス」技術を基盤に、
7つの事業で4つの市場に新たな世界を切り拓く。



- 12 -

(2) プライベート展示会開催 (東京)

過去最高 1884 名様にご来場いただきました



(3) 事業譲受 (概要)

名古屋電機工業株式会社から事業を譲受け、技術力のある技術者が仲間入り

連結子会社とのシナジー

- ◆ アポロ精工株式会社 (自動はんだ付装置等を開発・製造・販売)
- ◆ アインド株式会社 (半導体洗浄装置等を開発・製造・販売)

新規顧客へのアプローチによる販路拡大

実装市場向け

- はんだ印刷検査装置 (SPI) / 基板外観検査装置 (AOI)
 - ✓ カメラやレーザーを用いた情報入力で、画像(2D)や高さ情報(3D)からの特徴抽出より、不良の有無を高速・高精度に検査を行う

半導体市場向け

- X線検査装置 (AXI)
 - ✓ 外観検査が難しい製品の内部状況の把握が可能
 - ✓ 斜めCTによる「非破壊検査」, 「自動検査」が特徴
- ICハンドラ
 - ✓ 供給トレイに収納された各種IC (集積回路) を自動搬送し、テスターで電気特性試験を行い、良品/不良品を分類



基板外観検査装置 (AOI)
NVI-G350

はんだ印刷検査装置 (SPI)
NVI-S300



X線検査装置 (AXI)
NXI-3510 / NXI-3500IM

ICハンドラ
SAH-2200K

(4) ASEAN・アジア地域の事業展開強化

PT PACIFIC TECH INDONESIA設立 (孫会社)

- インドネシアに設立 (ASEANサイバーセキュリティ市場第3位※)
- PACIFIC TECH PTE. LTD. と ESCO Pte. Ltd. が共同出資
- ASEAN 地域内において市場拡大を目指す
- **2022年7月28日設立**、11月下旬～12月業務開始予定

事業内容：

サイバーセキュリティ機器・ソフトウェアの販売、
インストール、メンテナンス、サポート事業

※出典 Network Security Market : Technology Segment Analysis, ASEAN, Q3 2021

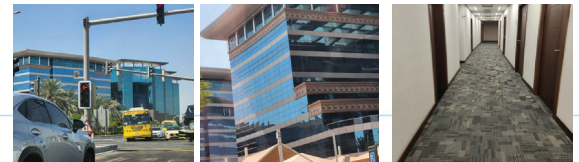


ESCO Pte Ltd Branch (子会社間での事業移管：エルモドバイオフィス)

- ELMO Europe SASから ESCO Pte. Ltd. への中東地域業務を移管
- ESCO Pte. Ltd. はアジア広域に拠点を構えて独自のネットワーク構築
- 拠点管理の一元化や**シナジー効果**・効率化により事業を強化
- **2022年9月22日登記**

事業内容：

AV 機器および**教育用 ICT 機器**、システムの販売・設置工事



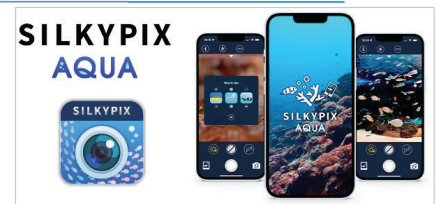
(5) 市川ソフトラボラトリー

画像加工ソフトのランナップ強化

水中写真をワンタッチで綺麗に加工

iPhone 用カメラアプリ『SILKYPIX AQUA』発売

『SILKYPIX Developer Studio Pro11～Package for Marine～』発売



学校の写真部などで簡単に使える写真加工ソフト

『SILKYPIX Developer Studio Pro11』アカデミック向け特別価格販売

企業などのSNS 担当者向け画像作成ソフト『Nak@Me』発売



(6) 2023年3月期の業績に影響する主な不確定要素

- ① COVID-19の蔓延による受注減や市況の悪化
- ② サプライチェーンにおけるコスト上昇（エネルギー・原材料等）
- ③ 世界的な半導体需要のひっ迫
- ④ 為替相場（円安による輸入製品等のコスト上昇）
- ⑤ 競争激化等の影響によるコスト上昇分の価格適正化の進展遅延
- ⑥ ウクライナ情勢による欧州サプライチェーンの混乱

- 17 -

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R 担当窓口

- 役職： 取締役
- 氏名： 加藤 靖博
- 電話： 052-823-8551
- FAX： 052-823-8560
- E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON CO., LTD.

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

TIETECH

ELMO

Finefit Design

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

Knowledge
Imaging
Technology **KIT**

ELMO K-GRANDE
CORPORATION

AIND
— AI - Wind —

ITL

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

fino 株式会社 **ファインシステム**

Pacific Tech

市川ソフトラボラトリー

APOLLO
APOLLO SEIKO

ASIA